

～第1回化学技術者のための産学官フォーラム～

CCUSをめぐる 最近の政策動向と技術開発の方向性



- 化学工学会では現在、社会課題の解決を大きなミッションとして産学が連携し、様々な活動を展開しております。社会課題を解決するためには、いかなる未来を描き、そこで必要な技術を開発し、
- 社会実装に向けてあらゆる角度から検討を重ねていくことが求められております。
- そこで産学官連携センターでは、産学官の英知を結集し、ミッションを達成するために「産学官フォーラム」（以下、本フォーラム）を設立することになりました。本フォーラムでは今般、広く注目を集めているCCUSをテーマとして、それに関連する政策と技術開発の現状と課題を理解し、さらには産学官で相互に議論する総合討論を実施します。課題究明の絶好の機会として、各方面でご活躍される皆様の本フォーラムへの積極的なご参加をお待ちしております。

日時

2025 **11.12** 水 受付開始 13:00
13:30-17:30

会場

東京理科大学 森戸記念館 第1フォーラム
住所:東京都新宿区神楽坂4-2-2

開催形態

オンサイト(現地)とZoomによるオンライン開催
(注)オンライン参加者は聴講のみとなります。あらかじめご了承ください。

定員

会場60名・オンライン300名
(定員になり次第締め切り)

お申し込み

参加申込・送金締切 11月7日(金)

公益社団法人化学工学会 第1回産学官フォーラムの
URL:<https://www.scej.org/event/iag-forum.html>
または、右記のQRコードよりお申し込みください。



参加費

会場ならびにオンライン参加同額、消費税を含む

正会員 (海外正会員、海外連携会員を含む)	5,500円
法人会員に属する社員 (維持会員・特別会員・特別地区会員)	11,000円
協賛団体会員(個人・法人)	16,500円
会員外(個人・法人)	22,000円
懇親会参加費	4,000円

主催:公益社団法人化学工学会 産学官連携センター

協賛(予定):公益社団法人化学工学会産学官連携センター開発型企業の会、経営システム研究委員会、SCE・Net、グローバルテクノロジー委員会、公益社団法人化学工学会CCUS検討委員会、化学工学会分離プロセス部会、化学工学会基礎物性部会、化学工学会各支部、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人石油学会、一般社団法人触媒学会、分離技術会、日本膜学会

お問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 産学官連携センター
〒112-0006 東京都文京区小日向4-2-8 大樹生命文京小日向ビル4階
事務局 担当 澤田 E-mail:sangakukan@scej.org

PROGRAM (講演3件、各講演50分)

13:30~13:35 開会の辞

化学工学会
副会長 産学官連携センター長

芳野 正 氏



“産学官連携センター”では産業界、学界、政府関係機関を結び、相互理解を深め、夫々の社会課題を支え合いながら解決することを目指しています。
“産学官フォーラム”は、カーボンニュートラル社会の実現に向け、最新の政策動向や技術開発の方向性について理解を深める場として企画いたしました。本フォーラムでは、官側の政策担当者から直接お話を伺い、産業界・学界の皆様とともに、社会実装に向けた課題や展望について多角的に議論を進めます。多様な立場からの意見交換を通じて、政策への理解を深め、今後の技術発展や社会課題の解決に向けたヒントを得る機会となれば幸いです。

13:35~13:40 ファシリテーター紹介

化学工学会
CCUS 検討委員会 委員長

大場 茂夫 氏



ご略歴

1977年 東京都立大学工学部工業化学科 卒業
1985年 東京都立大学大学院工業化学専攻 博士課程修了 工学博士
同年 東洋エンジニアリング株式会社 入社
1993年 株式会社アスベンテックジャパン 入社
2008年 Process Systems Enterprise, Ltd. (UK) 入社
2009年 株式会社応用物性研究所設立 代表取締役就任
2022年 化学工学会 CCUS 検討委員会 委員長

1 講演

「CCUSに関する取組」

13:40~14:30

経済産業省 資源エネルギー庁
資源・燃料部 燃料環境適合利用推進課(カーボンマネジメント課)

講演者調整中

2 講演

14:30~15:20

「NEDOにおけるカーボンリサイクル/CCS技術開発の取り組み」

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 布川 信 氏

2050年カーボンニュートラル実現に向け、CO₂排出量の削減に繋がる様々な取り組みが進められている。本講演では、CO₂を炭素資源と捉え多様な炭素化合物として再利用するカーボンリサイクル、CO₂を分離回収し貯留するCCSなど、NEDOが実施するCO₂排出削減に向けた技術開発の概要を紹介する。

3 講演

15:20~16:10

「川崎重工における燃焼排ガスおよび空気からの二酸化炭素回収技術の開発」

川崎重工業株式会社 奥村 雄志 氏

二酸化炭素の回収・貯留・有効利用(CCUS)は、地球温暖化抑制に向けた重要な対策技術である。川崎重工では、産業分野におけるCO₂排出量削減を目的に、火力発電等の排出源からの燃焼後排ガスに含まれるCO₂回収と、ネガティブエミッションを実現する空気からのCO₂回収の両面に取り組んでいる。どちらも固体材料を用いたCO₂回収プロセスの開発を進めており、本講演では、当社技術の概要と商用化に向けた各種実証試験の状況について紹介する。

16:10~16:30

休憩 20分

16:30~17:30

総合討論

(講師+ファシリテーター) 60分

17:30

閉会の辞

17:45~19:30

講師を囲んだ懇親会

懇親会会場

ルコ(パティースペース)

<https://intelligent-lobby-ruko.gorp.jp/>

〒162-0824

東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル

TEL:050-5493-6695

東京理科大学森戸記念館より徒歩5分